

具体的な取組の柱									
事項		江津市	川本町	美郷町	邑南町	島根県	気象台	国交省	
具体的な取組									
①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策の推進									
・堤防整備等	R5 当初計画								江の川改修
	S R6 3月末時点								八神地区、大貫地区の築堤工事の延伸
■避難行動・水防活動に資する基盤等の整備									
・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	R5 当初計画								孤立する可能性がある地区において危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ設置・更新
	M R6 3月末時点								簡易型河川カメラ4か所、危機管理型水位計2か所の更新
・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上	R5 当初計画								大雨警報(浸水害)・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開する。 ①顕著な大雨に関する気象情報をより早く提供 線状降水帯による大雨の危機感を少しでも早く伝えるため、予測技術を活用し現在より30分程度早く発表。 (令和5年5月25日～)
	D.M R6 3月末時点								橋脚や護岸に受動色の水位表示板を更新・設置 令和5年度の増員により「気象情報基準評価係」「流域治水対策係」を新設し、気象情報の基準見直し体制や流域治水に関する知見の蓄積を強化した。 大雨警報(浸水害)・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行った。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開した。 ①顕著な大雨に関する気象情報をより早く提供、線状降水帯による大雨の危機感を少しでも早く伝えるため、予測技術を活用し現在より30分程度早く発表。 (令和5年5月25日～) ②台風進路予報及び暴風警戒域をより絞り込んで発表、数値予報技術等の改善を踏まえ、台風進路予報の予報円の大きさを及び暴風警戒域を現在より絞り込んで発表 (令和5年6月26日～)
■想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等									
・想定最大規模降雨に対応したハザードマップに基づく避難計画の見直し(避難場所及び避難経路の検討、広域避難の必要性検討、隣接市町との洪水時の連絡体制の検討)	R5 当初計画	E.F.G.L 緊	想定最大規模降雨に基づく避難計画見直しの検討を行う	避難場所及び避難経路の見直し	デジタルハザードマップの導入によるデータの更新と平時における活用と見える化	避難計画の見直しについて説明会の実施			
	R6 3月末時点		旧桜江町における地区防災計画作成に向けて検討を行った。	避難場所の再検討及び変更を実施	デジタルハザードマップをHPに公開し、住民(一般)へ周知を実施	未実施			
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難指示等を発令する範囲の見直し	R5 当初計画	C.E.F.G	避難指示等の発令範囲の検討を行う	過去の水害時の時系列水位等データを検証	過去の水害時の時系列水位等データを検証	対象地域に漏れがない運用の実施			
	R6 3月末時点		検討の結果、現行の範囲で変更なし	検討実施	検証の結果、変更なし	漏れが無いように実施した			
・洪水浸水想定区域内の要配慮者(社会福祉施設等)利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成・訓練実施の支援や定住外国人、観光客等を対象とした避難情報の提供	R5 当初計画	J	避難確保計画の改訂や計画に基づく訓練等の支援を行う	訓練実施の支援	策定された避難確保計画の適切な更新のための支援及び計画に基づく訓練等の支援(共催を含む)	要配慮者利用施設の避難確保計画作成について協議を実施予定			・江津市内の定住外国人・日本語学校の生徒等を対象とした講習会を実施 ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成・訓練実施における情報提供の支援
	R6 3月末時点		計画に基づく訓練等の支援を行った	福祉施設との協議を実施	町内の2施設で新たに作成	実施済み			令和5年度の増員により「要配慮者対策係」を新設し、要配慮者への支援を強化した。 ＜県内での取組例＞ ・松江市社会福祉協議会において、「大雨災害と気象台の発表する防災気象情報」と題した講演を行い、防災気象情報の理解を促進した。 ・令和5年度避難行動要支援者・個別避難計画実務研修(松江市、浜田市)において、「避難にむすびつく防災気象情報の利活用」と題した講演を実施し、避難計画作成等の支援をした。 ・外国人に対する職員の防災支援力向上のため、外国人サポーター養成研修に参加した。
・夜間、荒天時における避難指示等の発令基準の作成・避難誘導体制の検討	R5 当初計画	K	避難誘導体制の検討を実施予定	発令基準を検討	過去の水害時の時系列水位等データを考慮して検討	自主防災組織と避難誘導体制の協議を実施予定 (協議を踏まえ避難訓練を実施予定)			
	R6 3月末時点		地区防災計画作成の過程で一部で協議を行った	町執行部との協議を実施	未実施	自主防災組織と協議を実施			
・江の川(下流)の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害(防災)教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施	R5 当初計画	F.H	商工会議所等と協議	商工会等と協議	研修会・訓練の共催及び支援	商工会事務局と協議予定	要請に応じて参加・支援	各種講習会・訓練等の開催に協力し、支援を行う。	江の川(下流)流域の商工会や企業を対象とした講習会等の実施
	R6 3月末時点		開催に向けて協議を行ったが日程等の問題で開催できなかった。	継続協議中	未実施	BCPIについて継続的に協議を実施	要請がなく未実施	協力依頼・要請がなく、未実施	①江津商工会議所職員に、水害BCP作成に関する説明を実施(7/19) ②JAまね島根おちら地区本部を対象に避難行動等に関する出前講座を実施(8/16)
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所への配付やまごまごハザードマップによる災害リスクの現地表示の実施	R5 当初計画	A.E.F.G.L	表示板等の維持を行う	現地表示実施の検討	浸水想定区域の変更に伴うハザードマップの修正、浸水想定、避難経路の安全性を考慮した避難方法の個別検討、広域避難の具体的な調整	想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づき、ハザードマップを作成し、事業所へ配布			
	R6 3月末時点		表示板等の維持を行った	必要箇所について調査実施	検討の結果、変更なし	作成、配布済み			
■多様な防災活動を含むタイムラインの作成									
・河川管理者、沿川自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの運用及び見直し	R5 当初計画	B	他機関・住民等と連携したタイムライン改正の検討を行う	随時見直し	他機関連携型タイムラインについては、減災協議会により改正の検討を行う	水害タイムライン策定にあたり、協議会の一員として運用見直しに協力する。	運用および実洪水等による見直しに協力する	水害対応タイムラインの確認・調整(水害対応タイムラインにおいて、依頼に基づき防災気象情報を有効に活用する観点から助言を行う)	多機関連携型タイムラインの運用・見直し
	R6 3月末時点		未実施	随時実施	減災協により適宜実施	見直しを実施	運用および実洪水等による見直し検討に協力	計3回の江の川(下流)タイムライン立ち上げ・運用に協力	①江の川(下流)水害タイムラインを3回立ち上げ ②出水期前にタイムラインの運用方法等の確認、出水期後に水害タイムラインの運用等についてのアンケートを行い検討会を実施
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
・洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)	R5 当初計画	緊	ホットラインの確認を行う	随時実施	ホットラインの年次更新等	洪水時における河川管理者からの情報提供等を構築	(八戸川)県管理河川のタイムラインを活用して情報提供	—	指定河川洪水予報の氾濫危険情報を予測でも発表
	R6 3月末時点		実施	随時実施	都度検討	ホットラインを確認した	八戸ダム及び県管理河川における情報提供を実施	特になし	台風の接近がなかったため、Web会議による情報共有は未開催
・ダム放流情報を活用した避難体系の確立	R5 当初計画	緊	ダム放流情報を活用した避難体系の検討を行う	関係機関等と協議	施設管理者等の出す情報の確認と活用を検討	ダム放流情報を活用した避難体系の確立に協力する。	沿川市町村等から要望のある浜原ダムの放流情報に公開に取組みたい(要望)	—	治水協定に基づく事前放流の連絡体制等の整備等
	R6 3月末時点		未実施	関係機関と連携	都度検討	協力の実施	—	特になし	江の川水系ダム洪水調節機能協議会に新設ダムの追加変更を実施

具体的な取組の柱									
事項									
具体的な取組		江津市	川本町	美郷町	邑南町	島根県	気象台	国交省	
■防災教育や防災知識の普及									
・江の川(下流)における浸水イメージ動画の作成・公開	A,B,F	R5 当初計画						引き続き実施	
		R6 3月末時点						引き続き検討を行う	
・「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用	H,I,R,緊	R5 当初計画	広報誌等で活用方法を周知する	町民への周知	HP、SNS、広報誌等による住民への周知を実施	町広報などで有効活用の周知を実施予定(住民対象)	島根県水防情報システムや、島根防災メールによる河川情報の発信	出前講座等、及び気象資料の照会を受けた際、防災気象情報等の入手先のひとつとして「川の防災情報」を紹介する。また、webによる市町村支援として、「気象防災ワークショップ」の開催や、「あなたの町の予報官TV」の動画配信を継続して実施する。	
		R6 3月末時点	出前講座や広報誌等で周知	町公式LINE等で周知	都度実施	周知を実施	水防情報システムや防災メールにより河川情報を発信	出前講座や気象資料の照会を受けた際、防災気象情報等の入手先のひとつとして「川の防災情報」を紹介した。 (令和5年6月16日～7月3日) 島根県内市町村防災担当者向けに、「気象防災ワークショップ(土砂災害編・洪水編)」を、web会議により計10回開催し、地域防災力の向上を支援した。 島根県内市町村防災担当者向けに、「あなたの町の予報官TV」と題した情報提供コンテンツを、毎週金曜日夕刻に「youtube」にて配信。週末にかけて、県内の気象に関する留意点等を動画にて平易に解説(異常気象が見込まれる際は、臨時配信)	
・小中学校などと連携した江の川(下流)水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の普及・充実	H	R5 当初計画	出前講座等で水害(防災)教育を行う	小中学校で実施	防災教育の実施・充実に向けた教育委員会との協働により学習会を開催	各小中学校で防災学習会を実施	要請に応じて参加・支援	出前講座等の実施により、防災気象情報の利活用をはじめとする防災知識の普及を行う。	
		R6 3月末時点	実施	小学校で災害授業に合わせ実施	都度実施	町内中学校等の職場体験時に防災学習を実施	要請がなく未実施	協力依頼・要請がなく、未実施	
・住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、ダムや堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施	B,H,I,緊	R5 当初計画	出前講座や避難訓練でツールを活用する	5月14日、6月4日11日訓練実施	防災意識を高める効果的な研修会、学習会の開催、河川管理者等と協働した説明会・訓練の開催	防災訓練や出前講座などで動画を活用する。また各地域で説明会を開催する。	住民に対して、広報誌などで施設機能について情報提供	出前講座等の実施により、防災気象情報の利活用をはじめとする防災知識の普及を行う。	
		R6 3月末時点	ツールを活用した防災教育を実施	町全体での実施に合わせ、各自治会ごとに個別説明を実施	防災アドバイザーを講師に迎え実施	町内自治会等で出前講座を実施	①新聞広報(考える県政)による情報発信 ②松江中学校と連携し、防災(治水)学習(5/18川のしくみ、5/26防災マップ、6/14ICT体験、計3回)を実施(八戸川、八戸ダム)	(令和5年10月29日) 「島根県総合防災訓練」において、展示ブースを開設。広く一般住民に向け防災に関する展示・解説を実施し、防災知識の普及・啓発を行った。	
・スマートフォン等へのプッシュ型の洪水情報発信	I	R5 当初計画	(配信)	(配信)	(配信)	(配信しない)		プッシュ型の洪水情報発信を引き続き実施	
		R6 3月末時点						対象とする出水は無かったが、プッシュ型の洪水情報発信は引き続き実施	
・住民一人一人の避難計画・情報マップ(マイ・タイムライン)の作成促進 ※令和5年度までに全小中学校、自治会において、マイ・タイムラインの作成支援を実施	緊	R5 当初計画	マイ・タイムラインの作成について検討を行う	研修会実施・作成支援	自主防災組織単位での学習会にマイ・タイムライン作成の取り組みを推進、関係機関と連携し講師等の手配を行う	自主防災組織、防災士と協力しマイ・タイムラインを作成する。	要請に応じて参加・支援	江の川(下流)流域の自治体等を対象にマイ・タイムライン講習会を実施	
		R6 3月末時点	未実施	支援実施	地区防災計画の作成にあわせ町内1集落で実施中	自主防災組織、防災士に対してマイ・タイムライン作成研修を実施	要請がなく未実施	江津市郡野津町地区でマイ・タイムライン等の防災出前講座を実施(7/30)	
■減災・防災に関する国の支援									
・適切な土地利用の促進	緊	R5 当初計画						災害危険区域を適切に指定促進するため、引き続き、水害リスク情報の提供を実施	
		R6 3月末時点						引き続き、情報提供を実施	
・地域防災力の向上のための人材育成	緊	R5 当初計画						地域に精通し水害・土砂災害リスク等に関する豊富な知見を有する専門家による支援	
		R6 3月末時点						支援要請はなく、未実施	
・水防災社会再構築に係る地方公共団体への財政的支援	緊	R5 当初計画						必要に応じて実施	
		R6 3月末時点						該当無しのため未実施	
・代行制度による都道府県に対する技術支援	緊	R5 当初計画						必要に応じて実施	
		R6 3月末時点						該当無しのため未実施	
・災害時及び災害復旧に対する支援	緊	R5 当初計画						必要に応じて実施	
		R6 3月末時点						該当無しのため未実施	
・災害情報の地方公共団体との共有体制強化	緊	R5 当初計画						必要に応じて実施	
		R6 3月末時点						該当無しのため未実施	
②氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動									
■避難行動・水防活動に資する基盤等の整備									
・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備(再掲)	M	R5 当初計画						孤立する可能性がある地区において危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ設置・更新	
		R6 3月末時点						簡易型河川カメラ4か所、危機管理型水位計2か所の更新	
・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上(再掲)	D,M	R5 当初計画						橋脚や護岸に受動色の水位表示板を更新・設置	
		R6 3月末時点						①水位表示板の更新・設置箇所を検討、次年度以降に現地対応の予定 ②指定河川洪水予報(国河川)の氾濫危険情報を予測でも発表(令和4年6月13日から継続)	
・樋門の無動力化の推進	T	R5 当初計画						樋門無動力化の実施予定	
		R6 3月末時点						小門原排水樋門において実施(R6年内完了予定)	

具体的な取組の柱								
事項		江津市	川本町	美郷町	邑南町	島根県	気象台	国交省
具体的取組								
■水防活動の効率化及び水防体制の強化								
・消防団員と兼務する水防団員への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施及び人員の確保	R5当初計画	水防団員の連絡体制の再確認を行う	消防団により随時実施	消防団員を対象とした研修会の開催、水防団活動の情報伝達体制の再構築と、各地域ごとの水防訓練を実施	消防団各分団により随時実施			
	R6 3月末時点	連絡体制の確認を行った	消防団により随時実施	6月に当該団員を集め、排水ポンプの操作訓練を実施(内水排除)	消防団により随時実施			
・江の川(下流)の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼務する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施	R5当初計画	水防団員による点検を実施	消防団により随時実施	合同点検の実施に向け、消防団員や地域住民の参加を促す。	消防団員により随時実施			合同点検等を実施
	R6 3月末時点	水防団により実施	浜田河川国道事務所と実施	未実施	消防団により随時実施			川本町職員・川本町消防団員と合同で重要水防箇所の現地確認を実施
・水防活動の知識習得と技術力向上のため、総合防災訓練等と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施	R5当初計画	水防団員に排水ポンプ等の実技指導を行う	各分団の訓練で実施	実施に向け関係機関と協議し、技能向上を図る	各消防団の訓練に併せて実施予定	要請に応じて参加・支援	各種講習会に参加する。また、開催に協力し、支援を行う。	国交省職員を講師とした講習会を実施
	R6 3月末時点	水防団員が排水ポンプ等の操作訓練を行った	各分団の訓練で実施	未実施	未実施	要請がなく未実施	協力依頼・要請がなく、未実施	国交省職員・防災エキスパート・コンサルタントと共同で、梅雨時期前に堤防点検を実施
・備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認	R5当初計画	重要水防箇所の点検等と併せて資機材使用方法の確認を行う	水防計画による確認	資機材情報の共有と、非常時における適切な要請を行う	R5年邑南町水防計画を策定し、情報共有を図る	出水期前に関係機関と調整会議などによる情報共有や資材の合同点検を実施		備蓄水防資材情報の共有および相互支援方法の確認
	R6 3月末時点	確認を実施	在庫点検を実施	情報共有のみ実施	情報共有を実施	水防計画による情報共有を実施		①水防連絡会、洪水予報連絡会、災害情報協議会を開催 ②川本町川本(谷地区)において、仮締切堤防の設置訓練を実施
・市町庁舎の水害時における対応について業務継続計画を策定及び機能確保のための対策の充実	R5当初計画	新庁舎版業務継続計画に改訂を行う	必要に応じて業務継続計画を見直す。	—	必要に応じて業務継続計画を見直す。			
	R6 3月末時点	改訂作業中	必要に応じて業務継続計画の見直し。	—	見直しの必要が無いため未実施			
・樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施	R5当初計画	樋門操作員研修会を出水期前までに実施	樋門等操作員研修で実施	関係機関と連携し適正な研修会・訓練の実施を行う	操作担当職員、消防団により6月までに実施予定	要請に応じて参加・支援		樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施
	R6 3月末時点	樋門操作員研修会を実施した。	樋門等操作員研修で実施	説明会を実施して頂き、訓練は必要に応じて実施	7月に実施	要請がなく未実施		①国交省職員・江津市職員、委託操作員を対象とした本町緊急内水排水機場・川本排水機場の操作説明会を実施 ②国交省職員・各市町担当職員、樋門操作員を対象とした樋門の操作説明会を実施

③ 浸水を一日も早く解消するための排水対策

■排水作業準備計画(案)の作成及び排水訓練の実施								
・排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施	R5当初計画	未定	未定	排水作業準備計画に基づいた排水訓練の実施	排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施する。	排水ポンプ車による排水訓練の実施		排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施及び訓練を踏まえた見直し
	R6 3月末時点	—	対象職員と作業確認	必用に応じて実施	消防団による排水ポンプの訓練を実施	排水ポンプ車による排水訓練(5/25、5/30、6/7、6/15 計4回)を実施		国交省職員と災害時の対応を行う協力業者で、排水ポンプ車の合同操作訓練を実施
・排水設備の耐水性の強化	R5当初計画	未定	未定	排水施設の耐水性の確認と、対処方法の検討	必要に応じて排水設備の耐水性の強化する。	—		実施予定なし
	R6 3月末時点	—	—	未実施	排水設備の点検と修繕を実施	—		—

新たな取組

■報道機関との連携								
報道機関との懇談会をwebにて開催	R5当初計画							報道機関との懇談会をweb会議にて主催し、水害をはじめとする防災知識の普及・啓発・周知について連携を強化する。
	R6 3月末時点							令和5年度の増員により「リスクコミュニケーション推進官」を新設し、報道機関や公共交通機関等との連携を強化した。 【第6回】(令和5年7月7日) 「二重偏波気象レーダーについて」 「顕著な大雨に関する気象情報」の新たな運用について 【第7回】(令和5年11月30日) 「冬期気象状況の経年変化、予想される冬の天候、雪に関する気象情報について」 ※いずれも、浜田河川国道事務所をはじめとする県内各河川国道事務所と共催

■追加確認事項

質問内容	江津市	川本町	美郷町	邑南町	島根県	気象台	国交省
ケアマネージャーに対する支援状況、地域包括支援センターへのハザードマップの掲示状況について教えてください。	ケアマネに対する支援なし ハザードマップの掲示なし	要配慮者利用施設へ配布	個別避難計画の策定支援に向けたケアマネージャーの活用及び支援については共に研修会へ参加 地域包括支援センターは役場庁舎内にあり、役場職員で構成されていますので、ハザードマップの情報共有はされています	邑南町役場医療福祉政策課内に、地域包括支援センターがあるため情報共有等実施できている			